

【国際経営学部】

・基礎ゼミナール

1年次生を対象にした必修授業「基礎ゼミナール」では、約10人の少人数授業で授業の受け方やレポートの書き方などのスタディースキルの向上を目指します。個人面談も実施しており担当教員が学生の学習上の問題やその他の相談に応じています。

・専門ゼミナール

2年次から4年次まで「専門ゼミナール」の授業を通して、担当教員が学生の学習面における個別指導、就職活動における相談、卒業論文の作成に関する個別指導など、学習面から生活面・社会面にいたるまできめ細かく指導する体制を確立しています。

・オフィス・アワー

学生が教員研究室において授業のことや学生生活に関する質問・相談等を気軽に行うために設けられた時間を「オフィス・アワー」といいます。学生はどの研究室でも自由に訪問することができます。

・フィールドワーク

国内外企業、プロスポーツチーム、ホテル、テーマパーク、空港などさまざまな企業を訪問させていただき、実際に働く方から直接お話をお聞きする機会を多数用意しています。さまざまな現場を体験しながら自分の進むべき道を探ります。また、在学中にインターンシップとして働くことも可能。現場での『気づき』を大切にします。

【教育学部】

・学習支援システム

教員・社会人としての「生きる力」を身につけていくためには4年間の意図的・計画的な履修が大切です。「生きる力」の基盤となる力をはぐくんでいく1年次の「基礎演習」、2年次の「教育学基礎演習」「教育学総合演習」の授業において、多くの教員できめの細かい指導を行っていただけるように少グループ編成などの工夫をしています。さらに、相談に応じたり履修に関するアドバイスをしたりするアドバイザー制度を設けています。この他にも、オフィス・アワー制度やラーニング・ラボで学びや学生生活をサポートしています。

・アドバイザー制度

1・2年次のアドバイザーは教育学部のすべての専任教員があたり、きめ細かな指導ができるように、約6人の学生に1人の教員がサポートするシステムをとっています。そして3・4年次は卒業論文を含む「専門演習」の授業で担当教員に引き継いでいきます。アドバイザーは入学から卒業まで学生のさまざまな悩みなどについて「親身」になって相談が出来る親代わりの先生です。また、教員としての「生きる力」が確実に見につけられるように、「履修カルテ」等をとおして、「適切」に導いてくれるナビゲーターともなる先生です。

・オフィス・アワー

学生が教員研究室において授業のことや学生生活に関する質問・相談等を気軽に行うために設けられた時間を「オフィス・アワー」といいます。学生はどの研究室でも自由に訪問することができます。

・ラーニング・ラボ

教育学部棟2階にあり、専任教員と特別研究員が配置され、教育学部の学生の学びをサポートしています。

・履修カルテ

履修カルテは必要な単位の修得がスムーズに可能となるように、修得状況を振り返り今後の計画を立てていくためのものです。全教員は免許を取得して「生きる力」を身につけた指導力のある教員になれるように、担当科目について責任を持って指導し評価します。